



Claude/MCPを活用して  
Slackアラート監視ができないか考えてみた

# 目次

1. 監視の現状フローと課題
2. 構想：AIにやらせたいこと
3. 全体アーキテクチャ
4. 実装の技術紹介
5. デモ
6. 感想・まとめ

# 1. 監視の現状フローと課題

- 現状...

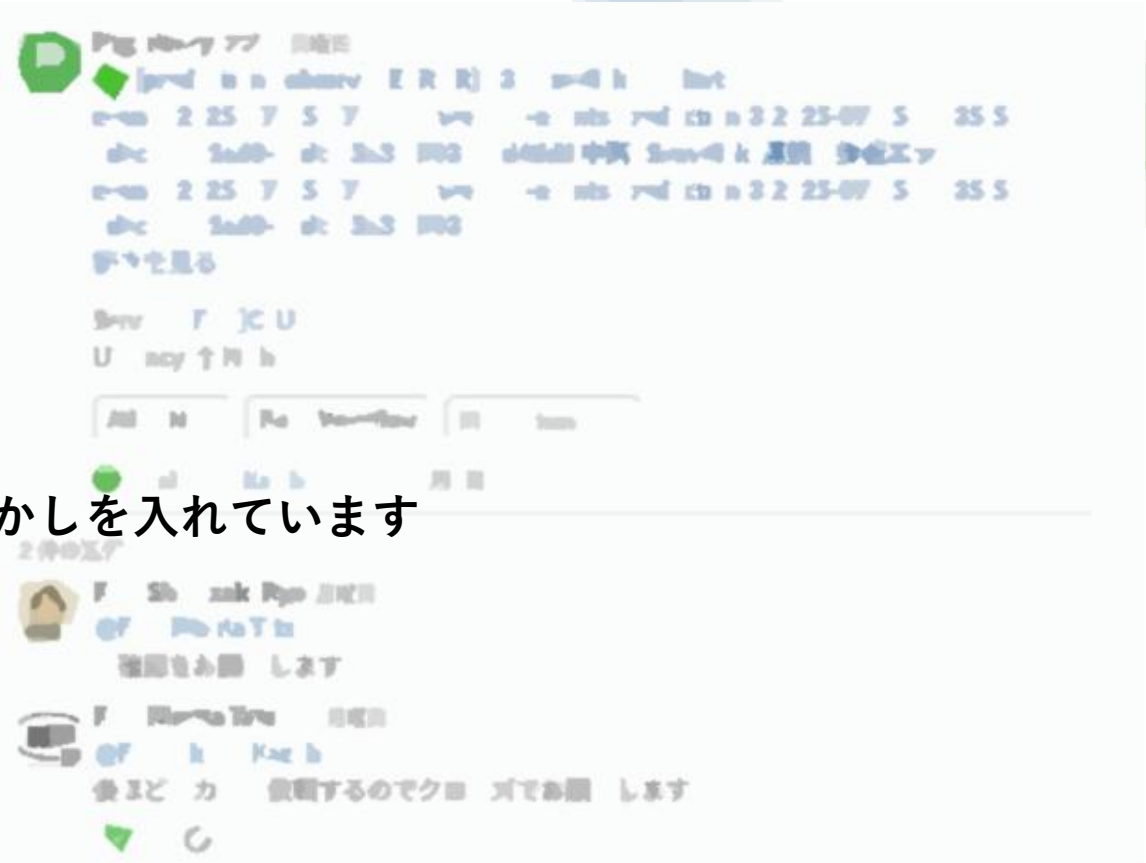
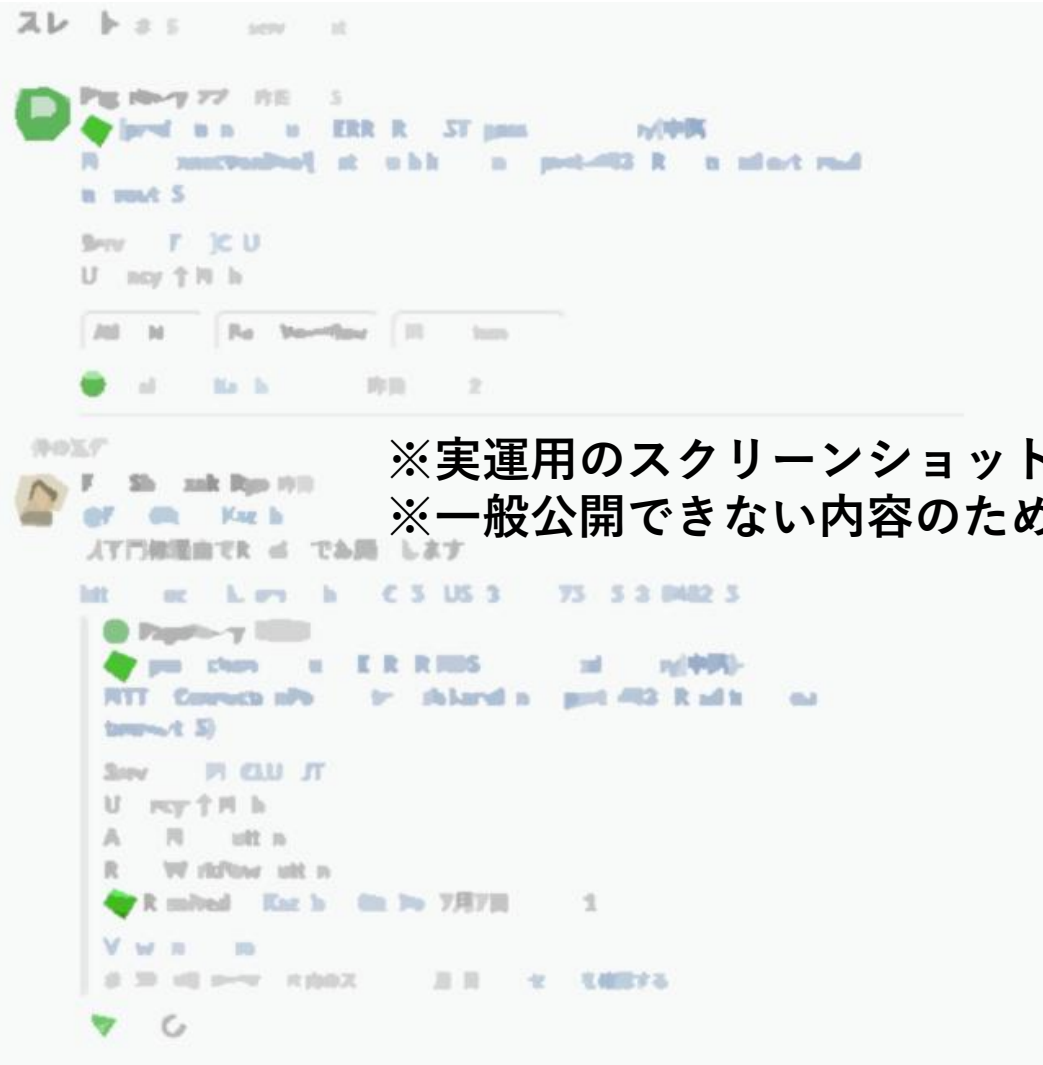
- 気付いた人がアラート確認を行っている
  - → 機能の開発者が確認したほうが早く適切な処置が取れる
  - → 担当機能のアラート通知が欲しい
- 実際に対処が必要なアラートは少なく、殆どが既知のアラート
  - → 担当者に割り振りするだけのものが多い
  - → 自動で担当者や過去の解決方法がすぐにわかったら楽になりそう

## 2. 構想：AIにやらせたいこと

アラートの初動確認を生成AIに代わりにやらせられないか？

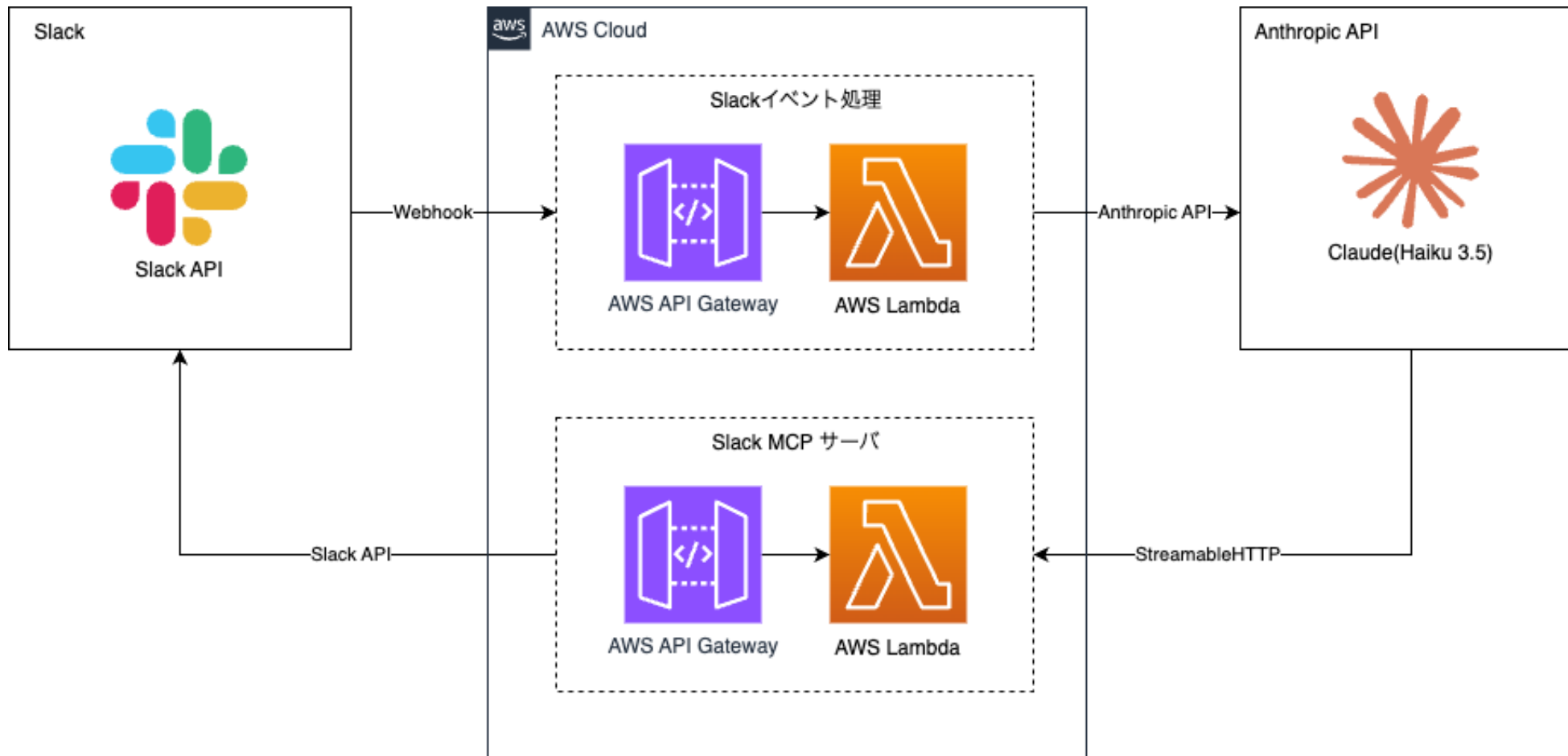
1. Slackチャンネル監視
2. 過去に類似アラートがあるか確認
3. 既知のアラートであれば、前回の担当者へ通知する
4. 新たなアラートであれば、エラー内容のサマリを通知する

# 2. 構想：AIにやらせたいこと



※実運用のスクリーンショット  
※一般公開できない内容のためぼかしを入れています

### 3. 全体アーキテクチャ



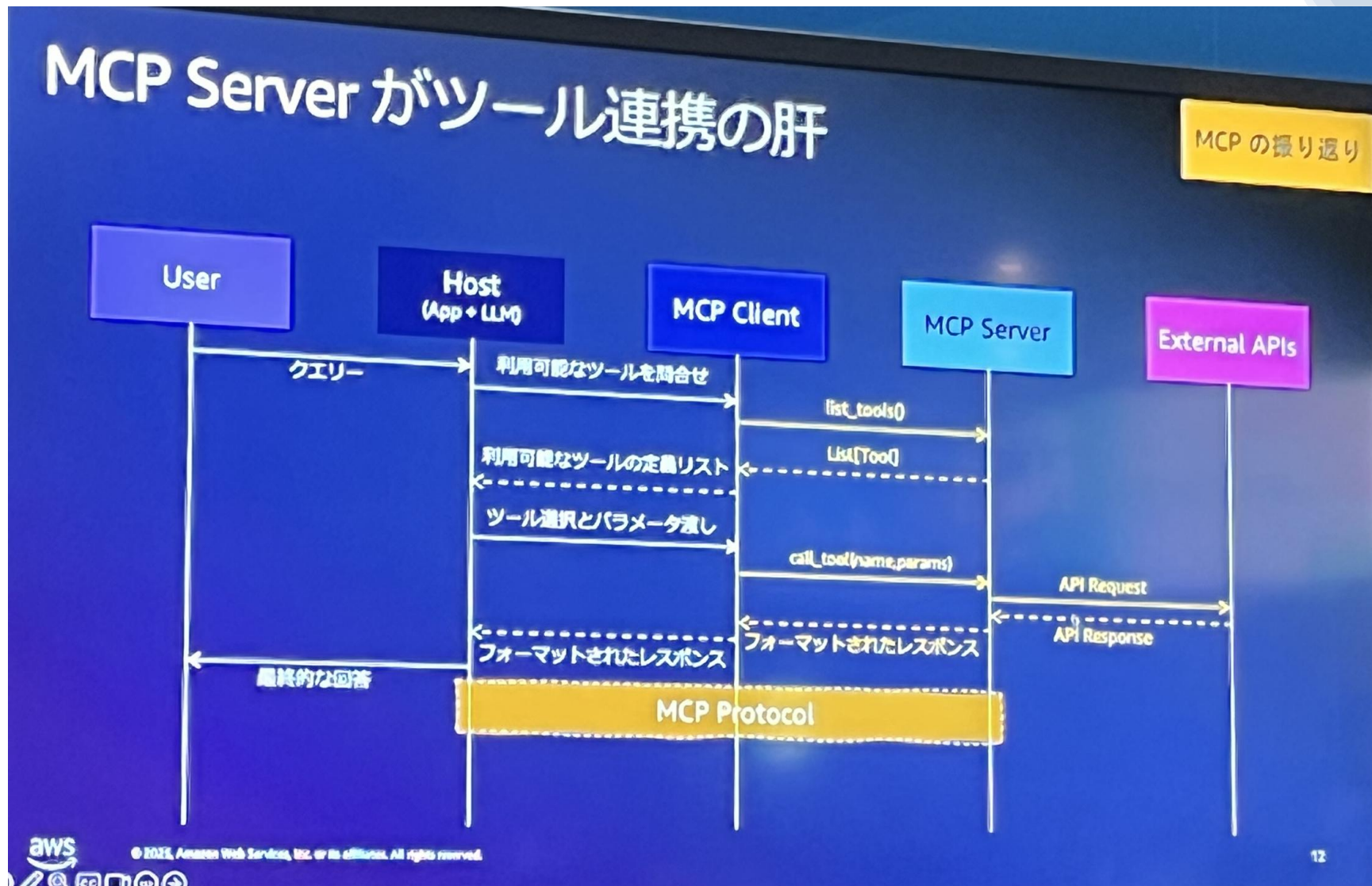
# 4. 実装の技術紹介

## MCP (Model Context Protocol)

- LLMが外部ツールとインタラクティブに連携するための標準プロトコル
  - 通信方式
    - stdio (ex. ファイル操作、ブラウザ操作)
    - StreamableHTTP (ex. リモートMCPサーバ)
  - レスポンス形式
    - JSON-RPC 2.0
- メリット
  - 共通化された形式により、LLM側がツール側の変更の影響を受けない
  - LLMにAPIの叩き方を教える必要がない

今回はLLMがSlack APIを自由に利用できるようSlack MCPサーバを準備

## 4. 実装の技術紹介



# 4. 実装の技術紹介

## MCPサーバ実装

- FastMCP
  - PythonでMCPサーバを作成するフレームワーク
  - FastAPIベースのため慣れ親しんだ構文
    - Ex.) @mcp.tool()
    - Ex.) @mcp.resource()
- lambda-web-adaptor でLambda環境で動かす
  - WebアプリをLambdaで動かすためのLambda Extension

# 4. 実装の技術紹介

## Anthropic API

- Claudeを呼び出すAPI
  - 任意のモデルが指定可能
  - 公式のPythonSDKあり
- (beta機能) MCPコネクタ
  - MCPサーバを指定することで、LLMがツール群を利用可能になる
- 従量課金制だが上限額指定が可能
  - なので手軽に試せる
  - Bedrockほど充実した機能はなし

```
response = anthropic.beta.messages.create(  
    model="claude-sonnet-4-20250514",  
    max_tokens=1000,  
    messages=[  
        {"role": "user",  
         "content": "What tools do you have available?"  
        }],  
    mcp_servers=[  
        {"type": "url",  
         "url": "https://mcp.example.com/sse",  
         "name": "example-mcp",  
         "authorization_token": "YOUR_TOKEN"  
        }],  
    betas=["mcp-client-2025-04-04"]  
)
```

# 5. デモ

## MCP Inspector

- MCPサーバの動作検証ツール
  - MCPへリクエストが可能
  - 利用可能ツールの取得や、実際にツールを実行できる
  - `npx @modelcontextprotocol/inspector`

# 5. デモ

## MCP Inspector v0.15.0

Transport Type

Streamable HTTP

URL

https://vrnrpfgalasjs7l6juk25yh

> Authentication

Server Entry

Servers File

> Configuration

▶ Connect

● Disconnected

System



Connect to an MCP server to start inspecting

Need to configure authentication?

Open Auth Settings

### History

No history yet

### Server Notifications

No notifications yet

# 5. デモ



**Ryo Shinozaki** 日曜日 22:25



POST /campaign - このキャンペーンは応募上限に到達しています。

1 件の返信



**slack alert** アプリ 日曜日 22:25

@Ryo Shinozaki

アラートが検知されました。

過去の解決方法はこちらです。([https://slackmcptest-hq.slack.com/archives/C092E9HS2Q1/p1751764082404879?thread\\_ts=1751764082.404879](https://slackmcptest-hq.slack.com/archives/C092E9HS2Q1/p1751764082404879?thread_ts=1751764082.404879))

キャンペーンの応募上限に到達したため、キャンペーンの停止または上限の引き上げが必要です。



**Ryo Shinozaki**



POST /campaign - このキャンペーンは応募上限に到達しています。

# alerts 内のスレッド | 7月6日 | [メッセージを確認する](#)

# 5. デモ



**Ryo Shinozaki** 日曜日 21:57

 **ALERT** 

POST /campaign - このキャンペーンは応募上限に到達しています。

1 件の返信



**slack alert** アプリ 日曜日 21:58

@slack alert

アラートが検知されました。

過去の解決方法はこちらです。(<https://slackmcptest-hq.slack.com/archives/C092E9HS2Q1/p1750260807740059>)

- 既知のエラーと判断された
- 特別な対応は不要と判断された
- 現在と同様の状況で、追加の対応は行われていない

詳細な確認とご対応をお願いいたします。



**slack alert** アプリ

 **ALERT** 

POST /users/1 - ただいま混み合っております

Triggered at: {"message": "POST /users/1 - ただいま混み合っております"}

[View original message](#)

# alerts 内のスレッド | 6月19日 | [メッセージを確認する](#)

## 6. 感想・まとめ

- 一般的なりリモートMCP/LLMの連携手順が理解できた
- アラートの類似性の判定は更に仕組みが必要
- LLMのアウトプットを後から確認できる仕組みが必要
- 他にもMCPを準備し、LLMのできることを増やせたら便利になりそう
  - Ex.) 社内API担当者取得用のMCPサーバを準備して、確実な担当者にメンションする
  - Ex.) PagerDutyのMCPサーバを準備し、Resolve/分離作業を生成AIに任せる